

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人むそう　びゅん長久手			公表日		2025年　1　月　30　日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		定員以上の広さを確保し、場所の使い方を職員間で話し合い、過ごしやすいようにしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、　職員の配置数は適切であるか。	4	1		より多くの利用者に利用していただけるように、職員のさらなる充実を目指して求人を募集している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		活動ごとに場所を分けている。 事業所の正面玄関にはスロープがあり、またユニバーサルトイレを設置している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃を行っている。活動に応じた備品を設置している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて個別の空間を用意し、活用している。			
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA　サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		事業計画または個別支援計画をもとに、日々の記録と会議を行っている。	限られた職員の参加が多いので、広く職員が参加できるように改善する。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年事業所評価を行い、業務改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的なミーティングを開催し、職員の意見交換の場を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	同一法人内で行われている児童系サービスとの意見交換をし、客観的な評価を行っている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内外での研修機会を設けている。			
適 切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成中であり、今年度中に公表予定。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		個々のニーズや将来への見通しをもとに支援計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援作成についての会議を実施し、作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか　。	5		放課後等デイサービス計画の保管場所を職員間で共有し、計画に沿って支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	法人独自の様式を使用し、個々のニーズに応じたツールを用いている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後等デイサービスガイドラインに沿った形で個別支援計画を作成し、実行している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームで記録を確認、次回の利用に反映している。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		個々の課題に合わせて毎回プログラムを設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		利用者の状況に合わせて計画を立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援開始前に活動のスケジュールを個別で共有し、担当する支援の役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	記録をもとに職員と情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の記録をもとに次回の利用に向けて支援の内容を検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年2回モニタリングを行い、利用者の状況に合わせて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		ガイドラインの内容もふまえて計画を作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動内容を選択したり利用者の希望を聞く時間を設けて、自己決定が出来るように取り組んでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		適切な職員が行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて連絡をとれる体制にしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	送迎時には学校関係者、保護者を通して情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	直接のやり取りは無し。 相談員や保護者を通して情報を把握している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		相談員を通して情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1	今年度実施なし	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	今年度実施なし	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	今年度参加なし。	次年度は参加を検討する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時の教法共有の他、電話やメールなどを活用している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	個々の支援内容をご家族に伝え、理解いただいている。研修の機会は設けられていない。	今後検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		見学時や契約時に丁寧に説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリングや必要に応じて利用者やご家族の意向を確認する時間を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		モニタリング時に同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		いただいた相談にのりながら、助言等の支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3	今年度実施なし。	今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		いただいたご意見を早期に対応できるよう迅速に情報共有し、対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	エリア内で毎月お便りを発行している。	今後はSNSを用いた情報発信を検討中。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		従業員に対しては雇用時に、個人情報の取扱いの取り決めに関して説明を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		個々に合わせたコミュニケーション手段を用いるよう、配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	今年度実績なし。	次年度は検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	各マニュアルは職員に周知しているが、保護者にすべてのマニュアルを周知できていない。必要に応じて伝えるようにしていく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		定期的に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	必要に応じて保護者に確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	保護者を通してアレルギーの有無やアレルギー反応が出た場合の対応について、確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	作成はしているが、職員への周知が十分でない。	広く職員へ周知する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		今後は面談の際に説明を行えるよう準備を行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		記録を活用し、会議等で事故防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待防止の研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	該当事例なし。	